

SUPER 耐久シリーズ 2012 第 2 戦

in

ツインリンクもてぎ



東 徹次郎

TOHJIRO AZUMA

今年初完走！！

課題はドライコンディションでのスピード！！

- ・開催サーキット：ツインリンクもてぎ（4.801km）
- ・チーム：KOTA RACING&AGE♂AGE♂RACING
- ・マシン：Olive SPA NSX
- ・メンテナンス：TRACY SPORTS
- ・カーナンバー：#70
- ・クラス：ST-3
- ・ドライバー：A NAORYU B 東 徹次郎 C 内海 利明



予選（4月28日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

今回も練習まではウェットコンディションだったので、事実上ぶっつけ本番のドライコンディションとなった予選。

前日のウェットでは感触も良くタイムも出ていたので、そのイメージを残しつつ予選に臨みました。

コースインしてからは、位置取りとフロントタイヤの熱入れに注意を注いでいました。

タイヤのグリップが出てきたかなと感じ始めたところでアタックに入っていきます。

しかし思っていたより NEW タイヤでのグリップ感は少なく感じ、良いところでタイムを伸ばすことが出来ません。

その代わりにタイヤのタレもそんな極端に感じませんでした。

タイムも全然伸びてこないの、一度タイヤの熱を下げる意味もあってクーリングラップを入れ、最後のアタックへ。

なるべく立ち上がりでアクセルを踏めるような走りを心がけて、セクターごとに自己ベストは更新し、最終ラップで自己ベストタイムは更新するものの、結局クラス7位で予選を終えます。

コンマ1秒の中に3台がいる混戦の順位でした。

B ドライバー予選タイム：2'07.673（クラス7位）

A・B 合算順位：クラス7位



決勝（4月29日）

◆Weather：晴れ ◆Course：ドライ

スタートは今回も自分が担当しました。

今回朝のウォームアップ走行はドライコンディションでの走行の感触をもっと掴んでもらう為に、AドライバーのNAORYU選手とCドライバーの内海選手の2人に走ってもらったので、事実上決勝日に自分がマシンに乗るのはコースインラップが初めてでした。

したがって、コースイン時はいつもよりももっと注意深く意識しながらマシンの状態を確認し、グリッドまで行きました。

スタートではクラス5位の80号車がピットスタートとなった為、ローリングスタートでは6位のマシンとの間隔を近づけながらもいない80号車のぶんを1台空けてフライングを取られないようにだけ気を付けました。

スタートは前戦の富士のように抜くことが出来ず、ハッキリ言って成功とは言えません・・・。

そのまま順位をキープしてオープニングラップを迎えます。

今回も4時間レースであるツインリンクもてぎ決戦。

ブレーキに厳しいコースでもあるので、ガソリンフル満タン状態では特にブレーキを労る走りを心がけて、飛び込み過ぎないで、3速で立ち上がるコーナーも重い状態の今は2速で立ち上がるなど、立ち上がり重視を意識して走りました。レースウィークを通して決勝日が一番の暑さとなり、春というよりは初夏を思わせるような日差しもあったので、レース開始3周目くらいですぐに水温を下げるファンのスイッチにも手が伸びていきます。

暑さのせいかな他車もペースが上がらないようで、ST-3クラスのマシンは2位～6位の自分までが大きな一つの集団となっていましたので、まずはこの集団にしっかりとついて行くことを意識していました。

集団なので当然前でもバトルが始まります。

前のマシンがやりあって片方がラインを外して加速が鈍ったところをしっかりと狙って、自分も5位に上がることに成功します。

しかしながら重い状態ではZ勢の加速とストレートの伸びは際立ち、ストレートで抜き返されてしまい、終始集団での走行が続きました。

前のマシンとの差もほぼ無い状態での走行が多かったので、水温が高くなってそのマネージメントにも気を遣いました。

高いときでは100度になってしまい、さすがにエンジンも熱ダレしてくるので、スリップストリームでついていきたいストレートも勝負どころでない場面では

横に出て風を当てて冷やしたり、少しショートシフトでのシフトアップにして少しでも水温を下げるよう試みました。

しかし、それでも 96 度くらいにしか下がらず、バックマーカーで混んだりして他車の背後につくと、すぐに 100 度になってしまっていたので、本当に気を遣いながら走行しました。

マシンのバランス自体は非常に良く、ガソリンが軽くなってきても重い状態でも基本的なバランスは変わらなかったのも、今後繋いでいく 2 人のドライバーにも良いニュースとなりました。

自分のスティントの終盤 39 号車をパスし、目の前のマシンもピットに先に入って行ったので、フル満タン状態から引っ張って約 1 時間半を走ったところで自分もピットへ。

このとき、おそらくクラス 4 位か 5 位くらいになっていてポジションアップに成功していました。

2 番手は C ドライバーの内海選手、そして最後に A ドライバーの NAORYU 選手へと繋いでいきます。

2 人は決勝で今週のレースウィークを通しての自己ベストを更新していくものの他車もペースを落とさず結局その後のポジションアップはならず、最終的には 8 位でチェッカーを受けます。

順位は下がってしまいましたが、今回はしっかりと完走することは出来ました。

決勝：8 位 (Total:109Laps)

※ベストラップ：2'09,435(Total:38Laps 走行)



反省

まず、今回はマシンの問題点も解決されてトラブル無く無事にレースを終えることが出来たのは、本当に良かったです。

自分自身の課題としては、ドライコンディションでのスピードです。

ウェットコンディションでは速さがあっただけに、ドライでの走りをもっと自分で研究し、アジャストしていくことが必要だと感じます。

そして予選でもっと前の順位を獲得することが当面の大きな課題です。

決勝は前回の富士よりもペースは良かったのですが、やはりもう一つ壁を破らなければと感じます。

ただ今回はバトルをしながらスタート時より交代の際にポジションを上げて帰ってこられたことは、非常に良かったプラス要素だと言えます。

ガソリンが軽くなってきたときにもっとタイムの上がり幅があっても良いはずなので、その辺の走りが次の SUGO での課題となります。



最後に

今回もたくさんの方々に応援に来て頂き、本当に有難うございました。
メールや電話をくださった方々も非常に心強くモチベーションに繋がりました。

第3戦のスポーツランド SUGO は5月20日となります。
次のレースは前半戦のラストとも言えます。
ここ2レース、思うように結果を残せていないことが非常に申し訳無いのですが、必ず浮上のきっかけはあると思いますし、自分自身が成長すれば自然についてくるものだと思うので、第2戦からそんなに日数も開きませんし、今回の良かったこと、悪かったことを活かして全力で頑張ります。
どうぞ今後とも御支援御声援の程、宜しくお願い致します。

2012年5月4日
東 徹次郎

